

夏季教頭研修会実施報告

- 1 期 日：平成28年8月5日（金） 13：30～
- 2 場 所：津市河芸中央公民館
- 3 内 容

会長挨拶、調査部長挨拶の後、2名の講師によるお話がありました。会長からは、全国大会について、調査部長からは、調査結果から考えられる課題等を盛り込んだ挨拶がありました。

<前半>

講師：三重県教育委員会福利・給与課 小中学校給与班

主幹 葛山 美香 さん

演題「給与全般について」

初任給、昇格、昇給、退職手当など給与制度の基礎知識をわかり易く説明していただきました。その後、給与条例より支給手当・扶養手当等様々な諸手当の概要について述べられました。



<後半>

講師：三重県教育委員会 スクールソーシャルワーカー

早川 武彦 さん

演題「スクールソーシャルワーカーの効果的な活用」



S S W導入のいきさつから始まり、その役割や学校での事案に対する活用方法など、パワーポイントを利用されながら、資料を元に詳細に説明していただいた。三重県教育委員会からは「S S Wを活用したことがありますか？」という題目のパンフレットをいただき、早川さんからはその説明もありました。

4. アンケートからの抜粋

<給与全般に関する講演について>

- 教職員の福利厚生面での条件の整備も必要であると感じた。
- 給与に関する研修（説明）はあまり参加のチャンスがないので、興味深く学習することができた。
- 給与体系の概要をある程度理解することができたので、今後活用できると思う。

- 普段気になっていたことを丁寧に教えていただきありがたかった。
- 人事評価における勤勉手当への影響について、大変わかりやすくありがたかった。
- これまで、事務職員さんに任せっぱなしで、自分で自分の給与について考えることすらなかったので、これほど細かな仕組み・体系になっているのだなと学べたように思う。
- 普段、書面で見ている数字の根拠がよく分かった。
- 興味のある問題なので、時間が短く感じた。

要望として

- 詳しい資料もつけていただいたので説明もよく分かったが、実際に例を出してもらうなど計算していただけたらよかった。

<スクールソーシャルワーカーの効果的な活用についての講演について>

- SSWの役割等、今日の講演はタイムリーであった。Q & Aの具体例が分かりやすかった。
- 今後学校の事案に対して、積極的に活用していきたいと思った。（良い機会となった。）
- 早川先生には、2つのケースでこれまでに世話になっています。「つなぐ」「子どもの最善の利益」という点で現場のもやもや感をきれいに整理していただいた。普段聞けないお話もあり、参考になった。
- SSWが普段何をしてくださっているのか良くわかった。学校として、SSWをすぐに課題解決してくれる請負人として過度に依存するのではなく、学校としてやるべきことをしっかりやろうと思った。
- SSWという名称はよく聞いていたが、具体的なイメージがもてていなかったが、より近くに感じられるようになり、その位置もよく分かりスッキリした。
- 関係者会議（ケース会議）は、何度か経験しているが、講師の先生が言われているように、情報交換で終始している感があり有効性をあまり感じられない場合が多かった。しかし、SSWの有効な活用とは、他の機関との連携や、役割分担等のアイデアがもらえ、前に進めるのかもと感じた。
- SSWをうまく活用しきれなかったのは、その方法を知らなかっただけだったのだと感じた。
- 学校では、外的な人材資源との協働が必要と考えているが、今後、本日の講演の内容をその一助とさせていただきたい。
- 今年度巡回型で大変お世話になっている。発達障がいに関わる教室での観察等に助言をいただき大変助かっている。時間が少ないくらいで、毎回来ていただく時間の確保を強く要望しているところだ。
- 「チーム学校」と言われながら、その重要性は理解できるものの、なかなかチームの構築ができずにいる現状の中で、SSWの活用について理解できた。今後の学校運営に生かしていこうと強く思う。

- 「つなぐ」役割のSSWとして認識できた。今後、子どもの数は減っても課題は増える（深刻化・多様化）と考えられる。県でもSSWの数を増やしていただき、十分な巡回ができるよう検討いただきたい。
 - 関係団体、関係諸機関との連携の重要性を改めて認識できた。実行にうつしていこうと思う。
 - 近々ケース会議を予定している。目指す着地点のイメージができて良かった。
 - 現在、SSWにはお世話になっているので、仕組みや役割についての説明がよく分かった。しかし、そのような機会がなければ、身近に感じることも利用することもなかったと思う。周知していくことが大切だと感じた。「つながり」は不可欠である。保護者対応は大変難しいと実感している。
- 要望として
- 丁寧に説明していただきよく分かった。ただ具体的事例等も多く語っていただきたかった。（特に困難事例等、どのように解決に導いたのかをお話いただきたかった。個人情報、守秘義務等よく分かりますが）

最後に

夏季教頭研修会に暑い中、ご参加いただきありがとうございました。またアンケートもたくさんお答えいただきありがとうございました。

この研修会は毎年、調査部が主となって計画を致しておりますが、本年度は、例年行っている給与研修に加え、スクールソーシャルワーカーの方に来ていただき、お話をさせていただきたいと早くから決めておりました。講師の方には早い段階から、この日のためにご準備ただいておりました。本当にありがとうございました。おかげさまで、アンケートにもございましたように膨大な資料を元にご講演いただき、好評のうちに終わることができました。

給与に関しましては、私たちの暮らしや健康を支える上で非常に大切なことではあります。多忙の中でつい見落とししてしまいがちになっています。長い教員生活の中でも給与面などあまり意識せず、ただ毎日を教育向上のため、必死に働いて見えた教頭先生がほとんどであったことだろうと思います。しかし教頭になったからには、「給与は事務職の方にお任せ」と決めつけるのではなく、教員からの質問に少しでも答えられるように学び、理解しておくことが重要であると再認識された方が多いのではないのでしょうか。

SSWの方の活用に関しましては、現在、虐待や不登校・発達障がい等様々なケースの子どもたちに、一人ひとりに合った素晴らしい教育環境をいかに提供することが大切か叫ばれています。そのような環境を実現へと導いていくのは、学校においては教頭の采配によるところも多いことと思います。今回一部ではございますが、学ばれたことをもとに有効に活用が図られますことを願っています。

尚、今回のアンケートをもとに、次年度さらに実りある夏季教頭研修会が実施できるよう考えていきたいと思っています。（調査部）